

山形県におけるシルバー人材センター設置状況



山形県シルバー人材センター連合会とは

山形県シルバー人材センター連合会は、「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」に基づき、山形県知事の認定を受けた公益社団法人です。

「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」により、働く意欲のある高齢者の方々に臨時的短期的な就業機会の確保と提供をする機関として平成10年に設立されました。現在シルバー連合は、連合本部と県内25ヶ所の市や町に置かれているシルバー人材センターで構成され、シルバー人材センター事業の効果的な運営と発展を図るため、センターの活動を支援するとともに、山形県全域にわたる事業活動を行っています。

また、連合本部では、シルバー人材センターの会員と就業率の増加を目指す「高齢者活躍人材確保育成事業」や新たに「高齢者の新規就業支援事業」を実施するなど、多様化する高齢者の就業ニーズに沿った活動を展開しています。

生きがいと地域のニーズを結びます※

シルバー人材センターは、地域での就業を通じて会員の生きがいの充実と福祉の増進に資することを目的としています。山形県のシルバー人材センターでは、従来までの仕事の受注に加え、地域のニーズの受け皿として、次のようなシルバー人材センターならではの仕事にも力を入れています。

●福祉・家事援助サービス

シルバー人材センターは、介護、介助、その周辺業務等、また、個人家庭の清掃や洗濯、買い物、食事の支度など、地域に根差した福祉・家事援助サービスを提供し、サポートを必要とする同世代や若い世代を支えています。

●学童保育、放課後児童クラブでの就業

核家族化や女性の社会進出と同時に、共働きやシングルマザーが増えています。そんな中、シルバー人材センターは、豊かな経験と豊富な知識をもつ女性会員が保育・児童クラブ等のお手伝いをしています。

●介護施設での就業

シルバー人材センターの会員が、介護施設での介護補助業務、清掃業務、送迎等の運転業務を担っています。

●空き家等管理事業

シルバー人材センターは、市町村と商工団体等が相互に連携・協力(協定を締結)し、見回り・除草・樹木の剪定又は枝下ろし、その他の空き家の適切な管理を行うことにより安全で安心なまちづくりの推進に寄与しています。

●農業支援

山形県では、サクランボ農家の人手不足を補うため、シルバー人材センター会員が活躍しています。また、高齢化の進行による農業従事者補足から、他の果樹・野菜栽培、稲作などの農作業、畜産にも就業しています。

●シルバーお助け隊

シルバー人材センターのサービスは、生活面での困りごとにもすぐ駆けつける「お助け隊」です。高齢者世帯では電球や蛍光灯の交換・朝のゴミ出し・ストーブ等の灯油の補給など、また、庭の簡単な草むしり・古新聞等の回収・指定場所への持ち出しなどの仕事も行っています。

地域社会の課題や地元企業の雇用ニーズなどに十分応えるため、シルバー派遣事業の取り組みも拡大しています。

●独自事業の紹介



わらじ製作

会員が手作りでオーダー製作する「わらじ」です。約400年の歴史を誇る河北町「谷地八幡宮祭典どんが祭り」の神輿行列を先導する「谷地奴」で使用するわらじも製作しています。〈河北町sc〉

門松製作

企業及び店舗等から注文を受けています。〈尾花沢市sc〉
稲わらで編んでコモで化粧しています。〈庄内町sc〉



注連縄(しめなわ)製作

転作田に作付けした稲を青刈り、天日干しにし、一般家庭
神棚用から神社奉納用まで対応し出来栄えの美しさも好評です。〈庄内町sc〉



他にも、「自転車リサイクル」、「花笠製作」、「刃物研ぎ」「朝市(山菜・農産物販売)」など会員が知恵と力を出し合ってユニークな事業を展開しています。

※「生きがいと地域のニーズを結びます」は、シルバー人材センターのキャッチフレーズです。